

M & A 総合研究所

9552・100株

6月28日東証グロース上場

設立4年目の「M&A Tech」企業

DX・AI技術を活用したM&A仲介事業を手掛ける。2021年にAIアルゴリズムの開発においてPKSHA Technology<3993>と業務提携した。料金体系は着手金や中間報酬を受け取らない完全成功報酬としている。2021年9月期の成約件数は25件、1件あたり平均成約手数料48百万円、M&Aアドバイザー数は31名。

会社設立から4年目という早さでの上場であり、この4年で業績は急拡大している。M&A関連企業への市場評価は一時期より落ち着いた印象があるが、M&A市場はまだ拡大余地があると見込まれており、同社は「M&A Tech」企業として、AIやDX関連の側面を併せ持っていることから注目されそうだ。

公開規模は60億円前後が見込まれ、最近のIPOの中では、かなり大きい印象。6/28はヌーラボ<5033>が同時上場予定。

■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

| 日程 | |
|-------------|-------------|
| 仮条件提示 | 6月10日 |
| ブックビルディング期間 | 6月13日～6月17日 |
| 公開価格決定 | 6月20日 |
| 申込期間 | 6月21日～6月24日 |
| 払込日 | 6月27日 |
| 上場日 | 6月28日 |

| 類似会社3社 | | | |
|--------------|----------|---|--------|
| 平均PER | 29.5倍 | → | 1,404円 |
| 日本M&A<2127> | 38.0倍(連) | → | 1,809円 |
| ストライク<6196> | 26.8倍(連) | → | 1,276円 |
| M&Aキャピ<6080> | 23.8倍 | → | 1,133円 |

(PERは6月9日ザラバの会社側予想ベース)

M & A 総合研究所

9552・100株

6月28日東証グロース上場

| | | 業績推移 (百万円・%) | | | | |
|-----------|-------|----------------------------------------|-------|----------|-----|---------|
| 決算期 | 売上高 | 伸び率 | 経常利益 | 伸び率 | 純損益 | 伸び率 |
| 2019/9 | 200 | — | 70 | — | ▲5 | — |
| 2020/9 | 376 | 87.6% | 3 | -94.5% | 4 | — |
| 2021/9 | 1,328 | 253.2% | 557 | 14165.7% | 368 | 8554.5% |
| 2022/9予 | 2,997 | 125.7% | 1,246 | 123.3% | 882 | 139.6% |
| 2022/3 2Q | 1,752 | — | 1,059 | — | 727 | — |
| 予想EPS/配当 | | 単独：47.60円/0.00円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算 | | | | |

■業績コメント

2022年9月期の業績は、売上高が前期比125.7%増の29.9億円、経常利益が同123.3%増の12.4億円と増収増益の見通しとなっている。

中小M&A市場は、経営者の高齢化及び後継者不在企業の増加という実態と、M&Aによる事業承継を推進する行政の政策により拡大を続けている。休廃業・解散企業件数は、2021年が約4.4万件であり、休廃業企業の代表者の約4割が70代で、60代以上でみると8割を超えており、代表者の高齢化が休廃業・解散を加速する要因となっている。それに対し、2021年の国内M&A件数は4280件にとどまっており、今後もM&Aの件数は増加していくと見込まれている。

同社は1社でも多くの企業の事業承継を支援すべく、AIマッチングアルゴリズムの精度向上、業務のDX推進という2軸で効率的なM&Aの実現に取り組んでいる。M&Aアドバイザーの採用も順調に推移し、当初計画を上回る推移となっている。

なお、通期計画に対する第2四半期末時点における進捗率は、売上高17.5億円で58.4%、経常利益10.5億円で84.9%となっている。

| 基本概要 | |
|-----------------|-----------------------------------------------------------|
| 所在地 | 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館12階 |
| 代表者名 (生年月日) | 代表取締役社長 佐上 峻作 (平成3年2月25日生) |
| 設立 | 平成30年10月12日 |
| 資本金 | 2億556万円 (令和4年5月24日現在) |
| 従業員数 | 82人 (令和4年4月30日現在) |
| 発行済株式数 (上場時) | 18,530,000株 (予定) |
| 公開株式数 | 公募 50,000 株 売 出 4,109,900 株 (オーバーアロットメントによる売出623,900株) |
| 想定公開規模 | 57.9億円～63.6億円 (O A含む) |
| 事業内容 | DX・AI技術を活用したM&A仲介事業 |

M & A 総合研究所

9552・100株

6月28日東証グロース上場

売上高構成比率（2021/9期 実績）

| 品目 | 金額 | | 比率 | |
|-------|-------|-----|-------|---|
| M&A仲介 | 1,269 | 百万円 | 95.6 | % |
| その他 | 58 | 百万円 | 4.4 | % |
| 合計 | 1,328 | 百万円 | 100.0 | % |

幹事証券団（予定）

| | 証券会社名 | 引受株数 | 引受シェア |
|-------|----------------------|------|-------|
| 主幹事証券 | 野村證券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | (株)SBI証券 | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | 大和証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | みずほ証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | SMBC日興証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | 楽天証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | 松井証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | マネックス証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | 岩井コスモ証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | 東海東京証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | 東洋証券(株) | 未定 | 未定 |
| 幹事証券 | あかつき証券(株) | 未定 | 未定 |

大株主上位10者とロックアップ

| 株主名 | 持株比率 | ロックアップ |
|----------------------------------------|--------|--------|
| 佐上 峻作（社長） | 73.82% | 180日間 |
| （株）SMBC信託銀行(特定金外信 PKSHA SPARXアルゴリズム1号) | 9.54% | 180日間 |
| Reo Asset Management1号投資事業有限責任組合 | 5.06% | 180日間 |
| コタエル信託（株）(信託口) | 4.45% | 180日間 |
| 矢吹 明大 | 1.34% | 180日間 |
| 荻野 光 | 1.07% | 180日間 |
| 辻 亮人 | 0.89% | 継続保有 |
| 梅田 裕真 | 0.44% | 180日間 |
| 西澤 建造 | 0.43% | 継続保有 |
| 鎌田 実策 | 0.40% | 継続保有 |

その他情報

| | | |
|-------------|-----------------------------|-------------------------------------------|
| 手取金の使途 | 今後の人材採用にかかるコストに充当する予定 | |
| 関係会社 | - | |
| VC売却可能分（推定） | -社 -株（売出し・保有期間などの制限があるもの以外） | |
| 直近有償第三者割当 | 年月日 | 2019年10月7日 |
| | 割当先 | (株)SMBC信託銀行 (特定金外信PKSHA SPARXアルゴリズム1号) |
| | 発行価格 | 151円 ※株式分割を考慮済み |

■ 銘柄紹介

同社は「M&A Techにより未来のM&A市場を創造する」を企業理念に掲げ、AIを中心としたテクノロジーとM&AアドバイザーのサポートによるハイブリッドなM&A仲介サービス及びM&A仲介でのWEB集客ノウハウを活かしたWEBマーケティング支援サービスを提供している。事業セグメントは(1)M&A仲介事業(AIマッチングアルゴリズムを用いたM&A仲介サービスの提供)、(2)その他(マーケティングをITにより効率化するサービスの提供)に区分される。

[M&A仲介事業]

同社は従来のM&A仲介サービスにテクノロジーを組み込み、効率化を推し進めることでマッチング相手を探索するスピードや成約までのスピードを短縮化し、1社でも多くの企業のM&Aの成約をサポートすることを目標としている。M&A仲介サービスは、譲渡希望企業もしくは買手候補企業との間でアドバイザリー契約を締結し、マッチング相手探索や、マッチング後のディール進行過程における利害関係者との各種調整業務等のサポートを行い、両者が円満に成約できるよう取引をリードする。M&A成約時に仲介手数料を収受することが主な収益となる。同社はAIの活用とDXの推進によりM&Aの効率化を図っており、それぞれ以下のように業務に組み込んでいる。

・AIの活用

M&Aを実施する際には無数に存在する企業の中から譲渡希望企業もしくは買手候補企業と親和性の高い企業を探す必要があり、従来はM&Aアドバイザーの属人的な知見によるところが大きかったため、候補先が自然と限定されてしまうおそれや抜け漏れの発生、マッチングに時間を要することがあった。このような問題を解消すべく、同社は候補先企業のリストアップにAIを導入し、提案スピード及び質の向上、また、ヒューマンエラーの防止に活かしている。

M & A 総合研究所

9552・100株

6月28日東証グロース上場

・DXの推進

M&Aをスピーディーに進めるため、自社内でシステム開発を行うことで徹底的に社内業務の効率化を進めている。自社開発環境を整えることにより、システムベンダーに外注する際とは異なり、日々タイムリーにマイナーバージョンアップを繰り返すことが可能となっており、効率化の速度を高めている。以下に各業務における主なDX事例をあげる。

i)ソーシング(案件探索):様々な切り口での検索を可能にしたソーシング機能を社内システムに組み込み、アプローチする企業選定にかかる時間を短縮。

ii)アドバイザー契約受託・案件化:稟議決裁システムを自社開発。契約書ドラフトが即座に作成しワークフローに添付される仕組みを構築。これにより日々生じる各種稟議申請にかかる時間を短縮。

iii)その他:M&Aアドバイザー各個人のアポイント数、アドバイザー契約締結数、営業経費金額等を社内システムで随時集計しており、全社員の営業活動が社内システムの画面上で把握できる状態となっている。

[その他]

その他の事業として、WEBマーケティング支援事業を行っている。具体的なサービス内容としては、WEBサイトを訪れるユーザーの行動を分析し、流入数や滞在時間を上昇させる記事の作成を行っている。顧客自身がWEBサイトを保有していない場合には、WEBサイトの立ち上げを代行する。毎月の記事の納品本数に応じて業務委託手数料を収受している。

免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp